

科目名	助産学実習Ⅲ (Clinical Practice in Midwifery Ⅲ)			科目コード	S119
単位数	1 単位	選択区分	必修	時間数	45時間
区分	助産学実践領域	履修時期	通年	関連DP	助①②④⑤
担当教員	今村 朋子、井上 明子				
実習目的	助産所における自然出産に向けた援助や自立した助産師の実践を学ぶとともに、施設の特性をふまえた助産管理や地域母子保健活動など、地域における助産師の役割について発展的に考える能力を養う。				
実習目標	1 妊娠期を中心とした助産実践の能力を身につけるとともに、対象理解や自然出産の意義、開業助産師の自立した実践について考察を深める。 2 助産所における管理・運営の実際や、助産師による地域母子保健活動について理解できる。				

実習内容	
<p>1. 実習期間 実習内容に応じて8～9月と11～1月の期間の中で不定期に実施する。 詳細は実習要綱を参照 ※事例の状況により、2月以降の補習期間に実習を行う場合がある。</p> <p>2. 実習時間 1) 外来実習（全員）：助産所外来見学を1回行う。 2) 入院実習（全員）：産褥・助産業務管理の実習を1日行う。 (Aコース学生は、継続事例入院時に実施)</p> <p>3) 選択実習：実習A・Bいずれかのコースの実習内容を選択する。 ・実習Aコース：継続受け持ち実習 妊娠期：継続事例の健診状況に応じて実習を行う。 分娩期：24時間体制で実習を行う。 産褥期：継続事例の産褥入院中にあわせて、入院実習を行う。 実習期間内は、産後健診にも出席する。 ・実習Bコース：地域活動実習 地域活動：他の助産院の見学や、地域で開催される相談事業、産後ケア、母子の支援イベントボランティアに参加するなど、学生主体で計画を立案し、幅広い助産活動を学ぶ。</p> <p>3. 実習場所 (一社)愛媛助産師会 まつやま助産院、その他各種イベント等開催場所 ※助産所の関連施設である嘱託医療機関、事例の自宅などの場で実習を行う場合がある。</p> <p>4. 実習展開 詳細は実習要綱を参照。</p>	
成績評価方法	実習評価表（100点）の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。
教科書	主に助産診断技術学Ⅰ～Ⅳ、統合ヘルスケアで用いた教科書を使用する。
参考図書等	適宜紹介する。
授業時間外の学習について	実習内容についての事前学習、事後学習、事例記録などの時間外学習を必要とする。
関連科目	106-109 助産診断技術学Ⅰ～Ⅳ、111 統合ヘルスケア、116 助産管理、120 助産学実習Ⅳ
備考	